

陽だまり

会報

第10号
平成24年5月



社団法人
山形県老人クラブ連合会

〒990-0021 山形市小白川町2-3-31 県総合社会福祉センター2階
tel (023)622-5601 fax (023)622-5606
ホームページ <http://www.kirara-yamagata.or.jp>
E-mail yrouren@poplar.ocn.ne.jp



山形市老連



山形市老連50周年記念公式ワナゲ大会(平成22年実施)



鶴岡市老連



河北町老連



鶴岡市老連鶴岡支部会員、女性会員研修(平成23年度実施)

県老人クラブ連合会創立50周年

市町村老人クラブ連合会結成(創立)50周年記念事業がはじまりました

県老人クラブ連合会は、県内老人クラブの発展向上と高齢者保健福祉の増進に寄与することを目的に昭和37年に創立され50周年を迎えます。

「天寿のさちをかみしめて、微笑みかわし、たちあがろう」をスローガンに「仲間づくり」「健康づくり」「生きがいづくり」を目的として、地域の老人クラブ会員の意欲と知識、活力を結集して多彩な活動に取り組んできました。

同じくして各市町村老人クラブ連合会も順次50周年を迎えます。

県老人クラブ連合会では、先人が築き上げてきた組織と活動を活性化させ、元気づくりを共に祝うことを目的として平成23年度から平成27年度まで50周年記念事業支援金を交付し、各地域で祝賀会や記念誌の発行などが行われています。

健康づくり地域サポーター養成事業

「健康づくり支援推進員になりま専科」を開催いたします！

毎年県内6ヶ所で開催している健康づくり地域サポーター養成事業を、今年度は「いきいきクラブ体操」や「公式ワナゲ普及員講習」など地域で活動するサポーターの要望を取り入れたプログラムを計画していますので、ぜひご参加ください。

【前期日程】

対象地区	期 日	会 場
置賜地区	7月5日(木)	高畠町営体育館・中央公民館
庄内地区	7月12日(木)	鶴岡市櫛引スポーツセンター
最上地区	7月20日(金)	金山町体育センター



【後期日程】

対象地区	期 日	会 場
東南村山地区	11月2日(金)	上山市勤労青少年ホーム
西村山地区	11月6日(火)	寒河江市ハートフルセンター
北村山地区	11月16日(金)	東根市さくらんぼタントクルセンター

①いきいきクラブ体操 ※必須科目

高齢者の日常に必要な動きなどを取り入れた老人クラブのためのオリジナル体操、スポーツ大会の準備運動や会合前のストレッチに最適です。

②高齢者向け体力測定会の実施 ※必須科目

高齢になると体力やバランス能力が低下し転倒やケガが多くなります。介護予防や健康づくりを始める前に自分の体力を知ることが大切です。

③公式ワナゲ普及員講習会及び資格認定検定

高齢者ニュースポーツとして人気の高い公式ワナゲが注目されています。ルールやスコア記録方法など習得し、すぐにでも実践できるよう普及員の養成をします。

山形県公式
ワナゲ協会より

～ご案内～

公式ワナゲ公認指導審判員 養成講習会

普及員の有資格者で取得後1年を経過しており、一般講習や大会運営、審判員として5回以上の実績経験がある方、また「公式ワナゲ全国交流大会」や山形県公式ワナゲ協会事業に協力可能な方が対象です。

置賜会場：7月 5日(木)
高畠町中央公民館

庄内会場：7月12日(木)
鶴岡櫛引スポーツセンター

最上会場：7月20日(金)
金山農業環境改善センター

村山会場：11月2日(金)
上山市勤労青少年ホーム

※時間はいずれも午後1時15分からです。
詳しくは山形県公式ワナゲ協会事務局まで。

TEL / 023-622-5601

気になるところピックアップ!

平成24年1月から2月まで、県内4ヶ所(山形市・新庄市・高畠町・三川町)を対象に「老人クラブ組織活性化に関するアンケート調査」が行われました。

調査の方法は、老人クラブ会員が地域に住む高齢者宅を訪問しアンケートを依頼し回収をしました。

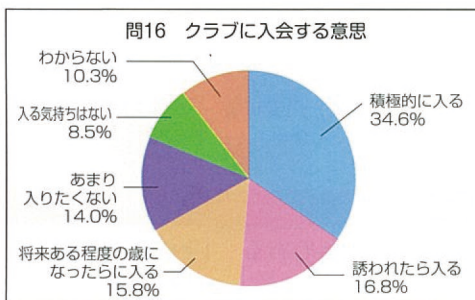
「老人クラブ」の気になる情報をピックアップしてご紹介いたします。

ポイント

1 入会への意思…キーワードはお誘い

積極的に入る、誘われたら入る、将来ある程度の歳になったら入る肯定的な回答が全体の67%で、反対にあまり入りたくない、入る気持ちはない、わからないを含め否定的な回答は33%であった。

自ら加入を志願するより、他力的な考えの方が多くことから、誘うための広報活動と誘う人(キーパーソン)の発掘育成が大きく影響する。

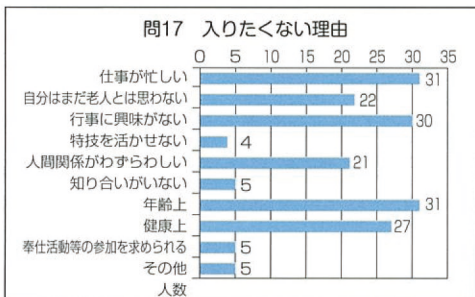


ポイント

2 入りたくない理由の改善

仕事が忙しい、年齢上の問題、健康上の問題など物理的な理由に加え、行事に興味がない、自分はまだ老人とは思わない、人間関係がわずらわしいなど精神的な面の双方で老人クラブを否定しているように思われる。

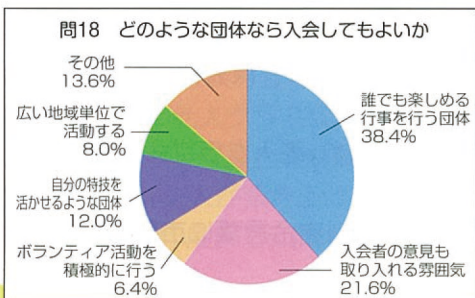
しかし、印象(イメージ)ではとても良い、まあまあ良いが全体の7割以上を占めていることから、地域社会での役割を再認識することが改善の方法と考える。



ポイント

3 どんな団体ならば入会してもよい。

誰でもが楽しめる行事を行う団体、入会者の意見も取り入れられる雰囲気のある団体、自分の特技を活かせるような団体をあげ、それらは組織の中で自分の位置(ポジション)、頼りにされ、必要とされている、やりがいを実感できるなど人間の尊厳が問われる。

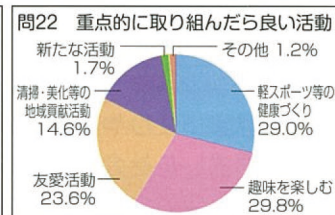
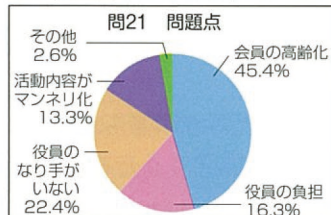


ポイント

4 老人クラブの問題点と今後の重点活動

会員の高齢化、役員のなり手がいない、役員の負担が大きい、活動のマンネリ化があげられ、それらはすべて連鎖し、組織課題における悪循環の構図となっている。

一方において老人クラブへの期待も多く、趣味を楽しむ、健康づくり、地域での支え合いなど、これまで取り組んできた活動の視点を変えた取り組みが求められている。



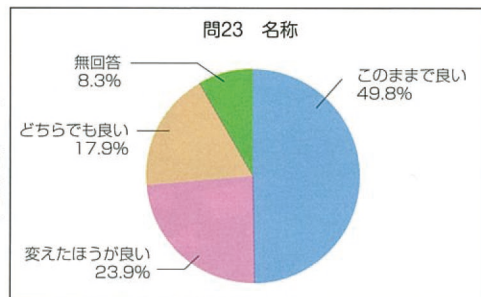
ポイント

5 名称の変更は避けては通れない。

全体的には、このままで良いが約半数ではあるが、非加入者群の多くは変えた方が良いと回答しており、現役会員とに相違がある。

また、現在加入されている70歳前の会員においては、変えた方が良いと思っている方の割合が高かった。

今後、新たな年齢層を取り込むには、名称への抵抗をできるだけ払拭していくことも重要である。

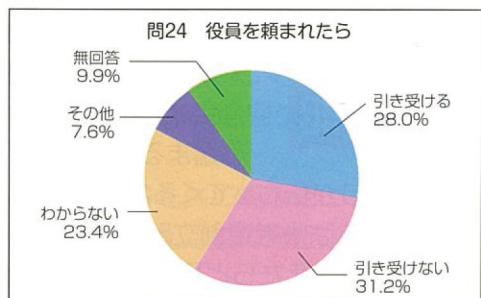


ポイント

6 役員の担い手と人材の育成

引き受けないが引き受けるを上回っており、その背景には、老人クラブの問題点が影響していると考えられる。

わからないと回答した方たちを組織の中でどう取り組んでいくかが、今後のポイントとなり、平成23年度から取り組んでいる「組織活性化に向けた加入促進のための若手会員」の組織化と合わせて、老連大学校(きららカレッジ)の開校に取り組む必要がある。



やまがた長寿安心プラン

山形県老人保健福祉計画(第6次) 山形県介護保険事業支援計画(第5次)

老人クラブ活動の施策と推進方向

県長寿社会課では、「やまがた長寿安心プラン」において、老人クラブの施策と推進方向をまとめ、評価目標をあげて老人クラブ活動の支援や推進を行っています。



ふるさと発見遊び塾inふながた水木団子刺し

- 「ふるさと発見遊び塾」や農産物の生産による食育、地域の子どもなどとの交流事業の支援
- 老人クラブ活動基盤の強化の支援し、若手委員会の設置及び次世代リーダーの育成等を行い老人クラブ活性化の支援
- 介護予防や生きがいづくりにつなげるため、要支援・要介護者などの加入及び参加促進につながる取組みの支援
- 各種高齢者団体との交流や事業の連携に資する取組みの推進

評価目標

健康づくりや友愛訪問、次世代育成事業など地域に根ざした社会活動を積極的に展開するため、老人クラブ会員の確保を図ります。

評価目標	現状	目標
地域福祉の担い手である老人クラブ会員数	[平成23年度] 66,859人	[平成26年度] 67,000人

東日本大震災お礼



4月5日、宮城県老連坂本会長と仙台市老連橋本会長ほか両老連の事務局長が訪問され、本会からは亀谷副会長と佐藤常務理事らが対応しました。

震災後の1年を振り返りまた現状を報告し、被災地では徐々に復興し元気を取り戻してきているが、まだまだ心に不安を抱えている会員も多く、出会いを大切に引き続き交流することを約束しました。

そして、「元気袋」のサポート県としての対応に感謝して、伝統工芸「玉虫塗り」扇面パネル仙台城が記念品として贈呈され亀谷副会長が代表して受け取りました。

その記念品は、5月29日の本会通常総会において披露し、役員室に飾らせていただきました。

編集 後記

風薫る5月、多くの市町村でも総会が終わりいよいよクラブ活動が本番を迎えます。未曾有の大震災から1年2ヶ月がたち、昨年度は本会女性委員を中心に宮城県老連と仙台老連会へ元気袋を贈る支援活動を行いました。

心温まる絵手紙や手芸品を元気袋いっぱい詰められ、老人クラブ会員一人ひとりの手のぬくもりが伝わってくるようでした。

今年は県老連創立50周年、「地域と共に、仲間と共に、輝いて50年」を合言葉に市町村老連とともに歩み、分かち合えたらと思っています。(歩)